

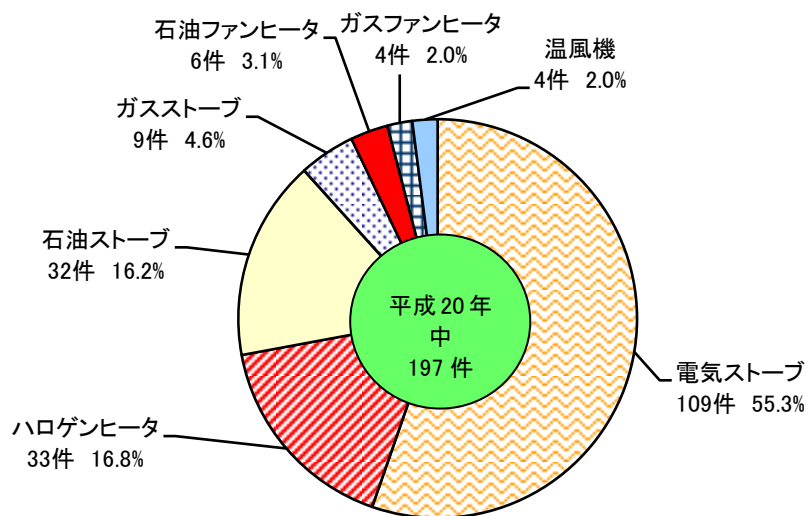
芝消防署防災マガジンNo.31(2009.12.4)

暖房器具が原因の火災が多発しています

平成21年(2009年)も残すところ1ヵ月となりましたが、東京消防庁では12月1日～平成22年1月3日までの年末年始特別警戒として、また、12月1日～22年3月31日までの火災多発期として特別警戒にあたっています。

この時期には、暖房器具による火災が多発していますが、平成20年中には、暖房器具が原因とみられる火災が東京消防庁管内では197件発生しています。器具別にみると、電気ストーブ等による火災が113件と最も多く、そのほとんどが誤った取扱いによって火災を引き起こしています。取扱説明書などをよく読み、器具の正しい取扱いや管理をすることが大切です。

主な暖房器具による火災の発生状況(平成20年中)



★暖房器具からの火災を防ぐポイント

1 衣類などの可燃物の近くで使用しない

- (1) ストーブの上で洗濯物を乾燥すると、落下した時、火災となるおそれがあるのでやめましょう。
- (2) カーテンや衣類・布団・ふすまなどのそばでは使用しないようにしましょう。

2 寝るときや外出するときには必ず火を消す

- (1) 布団などが接触して火災となるおそれがあるので、寝るときや外出するときは暖房器具等のスイッチを切る習慣を身につけましょう。
- (2) 電気ストーブ・石油ファンヒーターは、長期間使用しないときは、誤ってスイッチがはいることを防ぐためにコンセントを抜きましょう。また、収納するときには、電池を抜きましょう。

本棚など家具類の転倒による救急事故

一下敷きで思わぬ大けがに！！－

東京消防庁管内では、平成17年4月から平成21年10月15日までの間に、倒れた本棚やタンス、食器棚等の下敷きになるなどして**55人**が医療機関に救急搬送されています。

また、首都直下地震の切迫性が高まるなか、地震に伴う本棚や家具類の転倒により、多数の負傷者の発生が懸念されております。家具類の転倒・落下は、つまずいて転んだり、割れたガラスでけがをするなど、いろいろな危険をもたらします。一般のご家庭でも地震に備えた家具類の転倒・落下防止対策を実施しましょう。

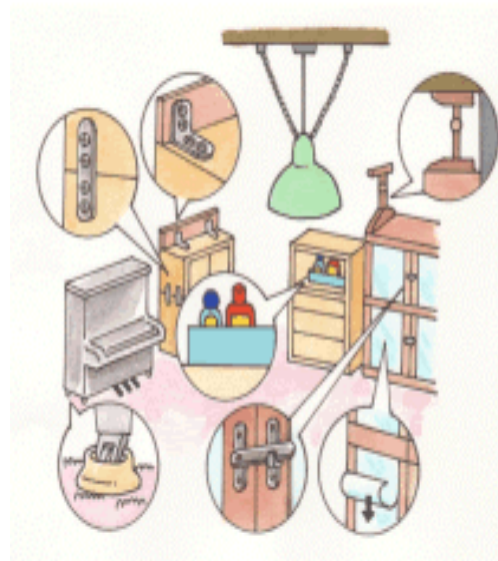


《事故事例》

	事故概要
本棚	1 平成18年1月(8歳男児) 自宅の収納本棚を引き出した際に、本棚が転倒し受傷 2 平成19年7月(5歳女児) 幼稚園の教室内の本棚が倒れ、受傷 3 平成20年11月(40歳代男性) 書店の本棚の移動中に、本棚が転倒に受傷
タンスなど	1 平成17年4月(60歳代女性) 居室内でタンスの下敷きになっているのを夫が発見 2 平成18年12月(3歳女児) 洋服タンスが倒れ、下敷きになり受傷 3 平成21年8月(1歳女児) 家族がタンスの引き出しから物を取ろうとした際に、タンスが倒れ女児の右手が引出に挟まれ受傷

平成21年10月15日現在

家具類の転倒・落下防止方法



平成22年 東京消防出初式のご案内



東京消防庁毎年恒例の年頭行事、出初式が平成22年1月6日(水)に東京ビックサイトで行われます。今年のテーマは「広げよう地域の連携 高めよう防災力」です。

式には、東京23区および多摩地区の各消防署に属する各種消防車に加え、消防ヘリコプターや消防艇なども集結し、音楽隊やカラーガーズ隊、各種消防隊員による入場行進および演技、消防総監のあいさつなどが行われます。その後、メインとなる各種消防車による行進（機械部隊分列行進）が行われる予定です。

会場には、来客の席も準備していますので、どうぞご来場してください。

- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成22年1月6日(水) 午前9時45分開始 |
| 場 所 | 東京ビックサイト(東京都江東区有明三丁目21番先) |
| 入 場 | 無料 (入場に関しての資格制限はありません) |
| 交 通 | ○ 臨海副都心線「国際展示場駅」下車徒歩10分
○ 東京臨海新交通臨海線(ゆりかもめ)「国際展示場正門駅」又は「有明駅」下車徒歩10分
○ 路線バス
・ JR「浜松町駅」(世界貿易センタービル別館バスターミナル9番のりば)から約30分 「東京ビックサイト」下車徒歩10分
・ JR「東京駅」(八重洲口バスターミナル1番のりば)から約40分 「東京ビックサイト」下車徒歩10分 |